

鎌倉女子大学短期大学部

入学検定料免除制度や学内併願の容易さなど、受験生に対する支援体制が充実している鎌倉女子大学。すべての選抜で調査書を有効に活用するなど、小規模大学ならではの丁寧さが滲み出ている。2017年度から先駆的に取り入れてきた多面的な審査方法を軸に、総合的評価を実現している。

総合型選抜は、課題探究型にリニューアル

鎌倉女子大学では、2017年度入試からAO入試（高大接続重視型）として「調査書」「集団討論」「プレゼンテーション」「小論文」「面接」の5つの審査方法を先駆的に取り入れた選抜を行ってきた。

2023年度入学者選抜では総合型選抜をリニューアルし、高校での課題探究型学習を活かせる、「プレゼンテーション審査」にウェイトを置いた入試を実施する。その他、「面接」「小論文」「調査書」による審査も行い、受験生一人ひとりへの丁寧な評価に努める。また、募集人員は各学科の入学定員の2割とし昨年度から倍増する。さらに、これまでの出願資格としていた高校時代の正課外活動は問わず、一般選抜同様の出願資格とした。

学校推薦型選抜（一般）において

家政学部管理栄養学科の出願資格を緩和

学校推薦型選抜（一般）は、調査書（「全体の評定平均値」および「出欠の記録」を同学の基準によりスコア化）、小論文、面接により選抜を行う。

家政学部管理栄養学科では、2022年度より出願資格を緩和した。従来までは「化学基礎」と「生物基礎」に加え「化学」または「生物」の履修が必要であったが、これを満たさなくてよいものとした。また、全体の学習成績の状況を3.5から3.4に引き下げた。

一般選抜（特待生チャレンジ）における

特待生の選抜において主体性等の評価を加味

一般選抜では、2021年度よりすべての学科において国語と英語が必須科目となっている。国語では思考力や表現力を問うため、20字～30字程度の記述問題を課している。

大学入学共通テストを利用する場合、同学での個別試験は実施しない。英語外部試験の成績利用は引き続き見送る。

一般選抜（特待生チャレンジ）における特待生の選考において、同学は調査書の丁寧な評価に努めている。調査書内の「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」を中心に「主体性等」の評価を加味したうえで選考を行っている。

入学検定料免除制度で受験チャンスを拡大

全国5か所に地区入試会場も設置

最初に受験する試験の入学検定料を納入するだけで、次回以降の試験の入学検定料が志望学科を変更しても免除となる。検定料免除で一般選抜（短大／1教科）を学内併願することも可能だ。また第1志望の学科で合格とらなかった場合、出願時に第2志望の申請があれば、第2志望の学科で改めて合否判定を行う。（ただし、管理栄養学科以外の学科を第1志望とした場合、管理栄養学科を第2志望とすることはできない。）

特待生チャレンジは東京、静岡、郡山、新潟、長野の全国5か所に地区入試会場を用意する。

INFORMATION



自宅から本学HPにアクセスして参加する[STAY]と、大船キャンパスに来場して参加する[VISIT]にてオープンキャンパスを実施。

毎月開催！
事前予約は
HPから！



入試・広報センター長
河村 和宏

期待する受験生像

鎌倉女子大学の建学の精神は、「感謝と奉仕に生きる人づくり」です。他者への思いやりにあふれ、周囲と協力しながら社会のために行動できる人、大きな注目を浴びることはなくても、真に社会に求められ、貢献できる人を育成したいと考えています。このような建学の精神や教育方針を理解したうえで、大学卒業後のビジョンから逆算し、そのために本当に必要な学科での学びを深めていける受験生にこそ、積極的にチャレンジしてほしいと願っています。本学は小規模大学ならではのサポート体制で、学生の学びへの意欲を後押しします。